

平成20年版

名古屋市

生涯学習センター一年報

名古屋市教育委員会

も く じ

はじめに	1
生涯学習行政関係機構図	2
生涯学習センター配置図	3
生涯学習センター等施設概要一覧	4
平成 19 年度事業活動のあらまし	
生涯学習センターの事業の概要	14
生涯学習センター等の事業実績	
(1)生涯学習推進センター	15
(2)千種生涯学習センター	18
(3)東生涯学習センター	20
(4)北生涯学習センター	22
(5)西生涯学習センター	24
(6)中村生涯学習センター	26
(7)中生涯学習センター	28
(8)昭和生涯学習センター	30
(9)瑞穂生涯学習センター	32
(10)熱田生涯学習センター	34
(11)中川生涯学習センター	36
(12)港生涯学習センター	38
(13)南生涯学習センター	40
(14)守山生涯学習センター	42
(15)緑生涯学習センター	44
(16)大高分館・上汐田教育集会所	46
(17)名東生涯学習センター	48
(18)天白生涯学習センター	50
平成 19 年度利用状況	
1 利用のまとめ	53
2 利用件数	
(1)利用件数の推移	54
(2)部屋別利用件数・利用率	55
(3)利用区分別利用件数・利用率	56
3 利用者数	
(1)利用者数の推移	57
(2)主催事業・一般利用別利用者数	58
(3)部屋別利用者数	59
(4)利用区分別・男女別利用者数	60
4 定期講座	
(1)年代別・男女別受講者数	62
(2)居住区別受講者数	63
参考資料	
名古屋市生涯学習センター条例	65
名古屋市生涯学習センター条例施行規則	70
名古屋市生涯学習センター処務規則	74
生涯学習センター建設のあゆみ	76
あとがき	78

は じ め に

昭和 50 年に開館した千種社会教育センターをはじめとして、全区に設置された社会教育センターは、平成 9 年 4 月の「生涯学習センター」への名称変更を経て、各施設で多様な事業を実施してきました。さらに平成 12 年度に区へ編入され、より地域に密着した事業展開を目指しており、平成 19 年度には 148 万人以上の市民の方々にご利用いただいているところです。

変動する現代社会の中で、情報化、国際化、産業構造の変化など、人々は絶えず新たな知識や技術の習得を必要とし、こうしたことを背景に、人々の学習志向はより多様で高度なものを求める傾向が強まっています。

昭和 63 年に設置された生涯学習推進センターや各区の生涯学習センターでは、学習機会や学習内容の充実に努め、また、学習情報の提供や学習相談など市民が自ら学習活動を行うことへの支援を進めてきました。

とくに近年は、学習成果を生かし、何らかの社会還元をしたいという市民の意欲の高まりに応え、平成 14 年度より「教育サポーターネットワーク」事業を開始するとともに、自主グループが企画する講座の開設を支援し、さらに、平成 19 年度より、区の魅力づくりやまちづくりを推進する人材を育成するために、「なごや学マイスター講座」を実施するなど、地域の人材が活躍できるような学び・教え合う還流型の生涯学習の体制作りを進めています。

また、各生涯学習センターにおいては、平成 15 年度より土曜日の子どもや親子を対象に、自然体験やボランティア活動を通して豊かな心を育むことをねらいとした「トライアルサタデー」を実施するとともに、親のあり方、子育ての責務と楽しさ等について学ぶことを「親学」と位置付け、「親学関連講座」を展開しています。

このような取り組みの中で、生涯学習推進センターは、生涯学習に関する各種情報を収集し、インターネット等を利用しながらの情報提供機能、先導的な学習方法の開発、大学連携講座等の学習機会提供機能を担う広域的な拠点施設として、生涯学習センターは、まちづくりや現代的課題に関する学習機会の提供をはじめ、自主グループの支援・育成などの広範な生涯学習活動を支援する地域の拠点施設として、それぞれの機能を今後より一層発揮し、本市の生涯学習の推進を図っていきたいと考えています。

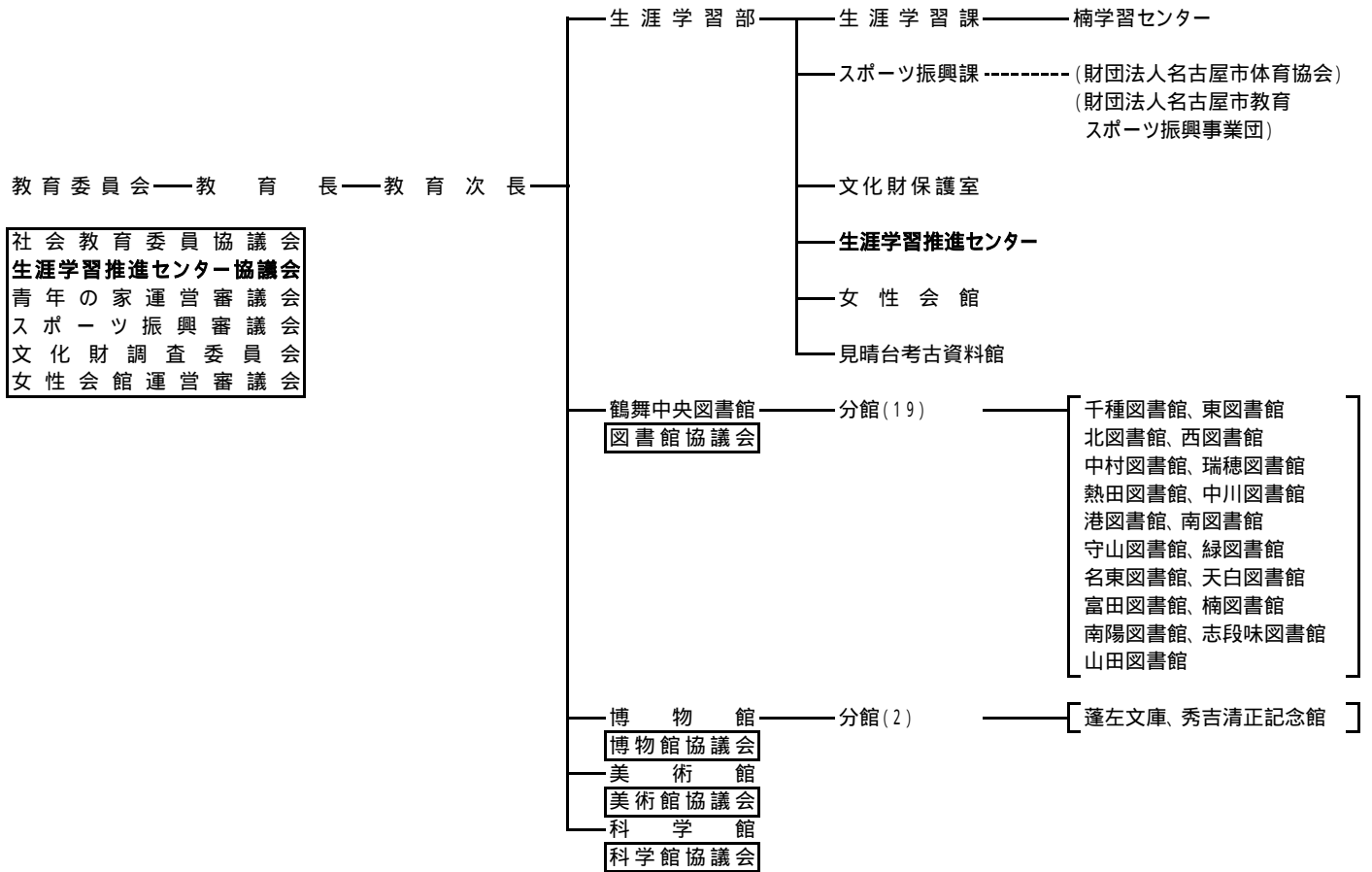
この冊子は、平成 19 年度の生涯学習推進センターと各区の生涯学習センター（有松及び大高分館、上汐田教育集会所を含む）における事業活動のあらましと利用状況をまとめたものです。

今後の生涯学習を進めるうえでの資料として、多くの方々にご利用いただければ幸いです。

平成 20 年 7 月

名古屋市教育委員会

生涯学習行政関係機構図 (平成20年4月1日現在)



財団法人名古屋市教育スポーツ振興事業団
 (地域スポーツセンター、トワイライトスクールの他、指定管理者として、総合体育館始め24施設を管理運営)

